

学習指導案の形式（例） 高等学校

◇学習指導案には、定まった形式や基準はない。各学校における教育目標や生徒の実態を踏まえ、各学校において定める目標及び内容をもとに創意工夫をしていくことが求められている。「高等学校学習指導要領解説（平成30年7月 文部科学省）」、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（令和3年8月 国立教育政策研究所）」等を参考に作成する。

総合的な探究の時間 学 習 指 導 案

○○高等学校 ○○科 ○年○組
 令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名（題材）

◇総合的な探究の時間において、どのような学習が展開されるかを一言で端的に表現したものが単元名である。
 ※生徒の学習の姿が具体的にイメージできる単元名にし、学習の高まりや目的が示唆できるようにすることが大切である。

2 単元の目標

◇各学校において定めた「内容のまとまり」をもとに、単元全体を見通して、単元の目標を作成する。
 ※総合的な探究の時間における「内容のまとまり」とは、各学校で設定した全体計画に示した「目標を達成するのにふさわしい探究課題」のうち、一つ一つの探究課題とその探究課題に応じて定めた具体的な資質・能力と考えることができる。
 ◇各学校の目標や内容を視野に入れ、どのような学習を通して、生徒にどのような資質・能力を育成することを旨とするのかを明確に示す。
 ◇表記については、一文で示す場合、箇条書きで示す場合が考えられる。

3 単元の評価規準

◇各学校において定めた内容の記述（「内容のまとまり」として探究課題ごとに作成した「探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力」）を観点ごとに整理する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
（単元の目標に対して） ～について理解している。 ～を身に付けている。 等 ①～に気づき、～理解している。 ②～に応じて、～できる。 ③～を身に付けている。	（単元の目標に対して） ～している。 等 ①～を立案している ②～情報の収集、蓄積をしている。 ③～を踏まえて、～を表現している。	（単元の目標に対して） ～しようとしている。 等 ①～向き合おうとしている。 ②～取り組もうとしている。

4 指導上の立場

○単元観

○生徒観

◇指導者の立場で書く。

○指導観

◇単元観…単元は、目標を実現するのにふさわしい探究課題及び探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力をよりどころとして計画される。単元の学習を通して、どのような概念的知識を生徒に獲得してほしいのか、どのような思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等の伸長を期待しているのかを明確にし、生徒の興味・関心から始まる学習活動の連続が、探究活動となるように単元を構想しなければならない。総合的な探究の時間では、生徒にとって意味のある課題の解決や探究活動のまとめりとなるように単元を計画することが大切である。

◇生徒観…生徒の興味・関心等に基づく生徒主体の学習活動の中で、意図する学習を効果的に生み出し、資質・能力の育成を行う必要がある。育成を目指す具体的な資質・能力について、生徒がどのような実態であるかを明確に把握しておく必要がある。また、中核となる学習活動について、どのような経験を持っているかも明らかにする必要がある。

◇指導観…生徒が抱いている様々な興味・関心の中から教育的に見て価値のあるものを捉え、それを適切に生かして学習活動を組織する必要がある。学習の展開における生徒の意識や活動の向かう方向を的確に予測する。探究をより質の高いものするために、生徒に寄り添い、場面に応じて適切な支援をしていく。そのためにも探究課題における教材の意味や教材の活用方法の検討、教材を取り巻く状況を把握したりすることが大切である。

5 指導と評価の計画（全○時間）

小単元名 (時数)	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	◇生徒の立場で書く。		①		構想するワークシート
			②	①	発言内容
2	○○について理解している。	①			研究計画書
	◇「知」は「知識・技能」、 「思」は「思考・判断・表現」、 「態」は「主体的に学習に取り組む態度」を示している。 ◇①、②、③は、3単元の評価規準の内容と対応している。	②			データ分析資料
				②	
3			③	②	研究発表における発言や質疑応答
		③			単元振り返りポートフォリオ

6 本時案（第○次 第○時）

(1) 本時の目標

- ◇「2単元の目標」「5指導と評価の計画」との整合をとる。
- ◇本時の評価規準との整合を図る。
- ◇生徒の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1 ◇生徒の立場で書く。	◇指導者の立場で書く。	◇生徒の立場で書く。
<p>目標</p> <p>◇学習活動のねらい(生徒の立場で本時の目標(又はめあて・課題等)を書く。</p> <p>2</p> <p>◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。</p> <p>◇生徒の学習活動を具体的に書く。</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>◇まとめや振り返りについて</p>	<p>◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習を進めるための手立て ・生徒が対話的に学習を進めるための手立て ・生徒が学習を深めるための手立て ・生徒一人ひとりの学習状況に応じた手立て ・予想される生徒の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等 <p>◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。</p> <p>◇「努力を要する」状況と判断される生徒への手立ての例を示す。</p>	<p>◇単元を通して資質・能力を育成することを踏まえ、本時単元の評価規準を具体的に表現する。</p> <p>◇評価の場面は1、2箇所に絞る。</p> <p>◇評価規準に合わせて、評価の観点・評価方法を明記する。</p> <p>◇評価方法を具体的に書く。</p> <p>◇評価方法の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシート等の記述等

(3) 準備物

- ◇ワークシート等必要な準備物を書く。